

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所ひまわりのもり		公表日		令和7年 6月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		発達支援室は個別活動と小集団活動に分けて活動可能な広さがある為、状況に応じてスペースを仕切り活動している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			配置は適切であるが、有給が取りやすい環境にする為に有給取得時の補充職員確保が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		玄関から発達支援室、個別活動室、トイレ等利用者様が移動する全ての空間で段差がないよう配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の支援開始前に清掃や支援教材の準備・整頓を行い、その日の活動に合わせた仕切りやテーブルの配置にしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		状況により個別活動室での活動ができるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		キャリアパスで対応	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価を年2回実施し保護者様の意向を把握した上で、業務改善に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の朝礼、夕礼や職員会議等で意見交換した事を基に、修正や改善が必要な場合は解決策を検討し業務改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者評価の実施に至っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		事業所内研修は定期的におこなっている	外部研修への参加機会を増やしていきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページで公表し、保護者様にも配布している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		契約時と更新毎の保護者様へのアセスメントで利用者様の状況把握を行って、計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員間で情報共有し、利用者様にとって何が必要で何が最善かを検討した上で放課後等デイサービス計画書の作成を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		放課後等デイサービス計画書は常に確認できるようにしており、計画書に沿った支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		標準化されたアセスメントツールの使用はないが、発達センター等の診断書や検査結果の情報と日々の支援での行動観察で得た情報で利用者の適応行動把握に努めている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインが定める【提供すべき支援】に沿った支援内容を踏まえ、放課後等デイサービス計画書に反映している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で利用者様の現状を共有し、必要な活動を取り入れている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用者様の特性や状況に応じて変更を加えている	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		利用者様の発達状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画書を作成し支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前にその日の利用者様についての打ち合わせを行い、支援方法や配慮点の確認を行った上で支援している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後に利用者様の様子について情報交換を行い支援の振り返りをする事で後日の支援に繋げている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記入漏れや情報共有漏れがないか都度確認作業を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、利用者様の状況や保護者様の要望で計画の見直しが必要な場合には適宜対応している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			基本活動の地域交流については、長期休み時に交流の機会が持てないか検討
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		日々の支援活動の中で自己選択の流れを作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者と療育に関わる支援職員が同席し、情報共有するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて関係機関と連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校から定期的に行事等のお知らせを頂き、毎日の送迎で担任と送迎職員間で情報交換し持ち帰った情報は必ず共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			対象の利用者様なし	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		要望あれば情報提供する体制を取っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		発達センター受診後は保護者様に診療記録の提供を頂き情報共有している	発達センター主催の研修等があれば参加していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		利用者様ご本人の発達支援の充実を希望される保護者様が多く、児童クラブ等との交流は現在の所ない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		地域のこどもふくし協議会の研修や定例会には積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時に利用時の様子を伝え、家庭での様子の確認もしている。また必要時には時間を設け、情報交換を行っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		相談があった場合は個別対応し必要な助言、情報提供を行っている		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に書面を用いて必要な説明を行っている。支援プログラムについてはホームページ掲載の案内の他に書面での配布も行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		利用者様と保護者様のニーズを踏まえた支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		支援計画の内容を説明する機会を設け、保護者様の同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者様から相談等があった場合は都度時間、場所を設定し必要な助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		保護者様同士の情報交換の場を提供できないか検討
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	マニュアルの整備と苦情についての相談窓口を設け苦情対応の体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	定期的にひまわりだよりを作成、配布し情報発信している	ホームページのブログ等の更新をしっかりと行っていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	個人情報に係る書類等は全て鍵付き書庫で保管し、破棄する書類については粉碎後破棄する等情報漏洩がない様になっている。職員については、業務上知り得た情報を担当者会議等の情報共有が必要な場合を除き口外しないよう周知している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	お便りは分かりやすい文言で記載し、日々の活動の動画や写真を提供し支援の見える化に努めている。また利用者様の特性に合った声掛けをするよう心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		近隣住民との接点がほとんどない為、関わりを持つ機会がないか模索が必要
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	安全計画の中で全ての訓練や研修を計画し実施。保護者様には安全計画を配布、職員は回覧で内容の確認を行い周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		安全性を確保した上で利用者様と一緒に避難する訓練については細部の検討が必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	契約の際健康状態の把握を行い、服薬等は変更があった場合は知らせて頂く様保護者様にお願いしている。必要時は聞き取りを行うようにしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。		対象者なし。今後アレルギーについての指示書等が出た場合は必要な対応をとる	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	安全計画にて、安全管理に必要な研修や訓練の統括・管理をし支援に活かしている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	安全計画を全保護者様に配布し、取組内容について周知を図っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	ヒヤリハットは共有し、内容を精査し、必要な対応策を講じている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	外部・内部研修にて虐待を防止するために必要な方策について学び意識を高めるようにしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	対象となる利用者様はないが、該当者が出た場合は虐待・身体拘束等の適正化委員会にて必要性の検討を行う体制づくりをしている		